

主題：信徒

メッセージ 25

彼らの現在——キリストの中へと信じて、キリストの中へとバプテスマされる

聖書：ヨハネ 1:12-13, 6:47, 53-57, I コリント 5:7-8, 10:1-2, ローマ 6:3-5

- I. キリストの中へと信じることは、彼をわたしたちの全体的な救いとして、またわたしたちの過越と種なしパンとして受け入れることであり、それはわたしたちの法理的な贖いと有機的な救いのためです。——I コリント 5:7-8, 10:11, 出 12:1-36, 43-51:
- A. 創世記は人が「エジプトで棺の中」で終わることで結んでいます（創 50:26）。それは人が違犯と罪の中で死んでおり（エペソ 2:1）、「この世の中で希望もなく、神もない」ことを表徴しています（12節後半）:
1. エジプトはこの世の肉的な享受を予表します。それは、この世の支配者（ヨハネ 12:31, エペソ 2:1-2）であるサタンの中の奴隷状態と束縛の中へと人々をもたらします。サタンはパロ、エジプトの王によって予表されます。
 2. 出エジプト記は啓示していますが、神はあらゆる形の横領と占有からご自身の選ばれた民を救い出すことを願っておられます。それは、彼らが神ご自身以外のものを何も持たないためです——創 1:4, 詩 73:25, マタイ 17:5, 8。
- B. わたしたちがキリストの中へと信じた日、わたしたちは新しい誕生、新しい開始を持ちました。そして「聖なる暦」にしたがったわたしたちの時代が始まりました——出 12:2-3, 13:4。
- C. 過越はキリストの予表であり、過越の実際において、キリストの血は飲むことができ、キリストの肉は食べることができます。キリストは全体として食べることができます。—— 12:13, I コリント 5:7, ヨハネ 1:29, 6:4, 54, 57, 63:
1. 主の肉を食べることは、彼がわたしたちのためにご自身の体を与えることにおいて行なわれたすべてのことを、信じることによって受け取ることです。彼の血を飲むことは、彼がわたしたちのためにご自身の血を流されたことにおいて達成されたすべてのことを、信じることによって受け取ることです。
 2. 主の肉を食べ、彼の血を飲むことは、彼の中へと信じることです。なぜなら、彼の中へと信じることは、彼を受け入れることであるからです—— 54, 47 節, 1:12-13。
 3. 過越の小羊の肉が命の供給のために食べられたのと同じように、わたしたちもキリストを命の供給のために食べる必要があります——出 12:8-10, ヨハネ 6:53, 55-57:
 - a. 人の墮落の問題を解決するため、また神の当初の意図を達成するために、贖いと命の両方が必要とされます。
 - b. キリストの血を通しての神の法理的な贖いは、わたしたちの有機的な救いのためにキリストを命としてわたしたちの中へと分与するという神の目標に到達するための手続きです——ローマ 5:10。
- D. 小羊の肉は火によって焼かれるためであって、生のままで食べたり、煮て食べるた

めではありませんでした——出 12:8-9：

1. 火で焼かれることは、キリストが神の裁きの聖なる火の下で苦難を受けたことを表徴しています——イザヤ 53:4, 10. 詩 22:14-15. ヨハネ 19:28。
 2. 生のままで食べることは、キリストの贖いを信じるのではなく、彼を単なる模倣すべき人生の模範とみなすことです。
 3. 煮て食べることは、彼の十字架での死を贖いのための死とみなすのではなく、殉教のために人の迫害を被ることとみなすことです。
- E. イスラエルの子たちは、小羊をその足、頭、内臓と共に食べました。これが表徴していることは、わたしたちが、キリストの知恵、彼の活動と彼の動き、彼の内なる愛情と感情を伴う全体におけるキリストを受け取ることです——出 12:9。
- F. 小羊は種なしパンと苦菜と共に食べられました。これが表徴していることは、罪深いすべてのことを排除することと、それらに関する苦い味わいを持つということです。—— 8 節。
- G. イスラエルの子たちは過越の小羊のいかなる骨も砕いてはなりませんでした。—— 46 節。
1. 主イエスが十字架に付けられた時、彼の骨は砕かれませんでした——ヨハネ 19:33, 36。
 2. キリストの砕かれない骨は、彼の砕かれず、破壊されない永遠の命がわたしたちに命を分け与えることを表徴します——創 2:21-23. I コリント 15:45 後半。
- H. イスラエルの子たちは腰に帯を締め、足にサンダルを履き、手に杖を持ち、急いで小羊を食べなければなりませんでした——出 12:11：
1. 小羊としてのキリストを食べることは、わたしたちを活気づけ、この世であるエジプトから出て行かせます。
 2. 贖われた者たちは、自分たちが神の軍隊となることができるような方法で過越を適用しました。—— 17, 41, 51 節. 13:18。
- I. 鉢の中の小羊の血は、かもいと二本の門柱にヒソプ一束によって適用されました——出 12:22：
1. 最も小さな植物であるヒソプは量において最も小さい信心を表徴します。そのような小さな信心によってキリストの血は適用されます——列王上 4:33. マタイ 17:20
 2. 小羊の血が大きな器でなく、鉢の中にあることは、わたしたちの回心の経験において、キリストの贖う血は小さく、容易な方法でわたしたちに利用できるようにされていることを表徴しています。
- J. キリストは小羊、種なしパン、苦菜だけではなく、贖いの血でかもいと二本の門柱に振りかけられた家でもあります—— I コリント 1:30. エペソ 1:7：
1. 血は、わたしたちが家によって予表されたキリストの中へと入る道を開き、神の裁きからわたしたちを守ります——ヘブル 10:19. 出 12:13, 23。
 2. イスラエルの子たちは血で振りかけられた家の中にとどまっているように要求され、朝までそこから出てはなりませんでした—— 22 節：
 - a. わたしたちは、わたしたちは無であり、キリストはすべてであるという不変の

認識を持って、キリストとの一体化を維持すべきです——ヨハネ 15:5。

b. 贖いの血はわたしたちをキリストの中に保ちます—— I ヨハネ 1:7, 9。

K. イスラエルの子たちは、七日間、種なしパンの祭りを過越の祭りの継続として守りました——出 12:15-20. 13:6-7. マタイ 26:17 :

1. キリストは、わたしたちの種なしパンです。彼は純粹と真実の命の供給であり、絶対に純潔で、何の混ざり物もなく、実際に満ちています—— I コリント 5:7-8. 参照、マタイ 13:33. 16:12. マルコ 8:15. ガラテヤ 5:9. 啓 2:20, 24。
2. パン種を入れたものは、イスラエルの子たちにあってはなりません。これが表徴することは、わたしたちは、わたしたちが自覚している罪、また表現され、現されたどのような罪も対処しなければならないということです——出 13:7. 12:19. I コリント 5:7 前半. ヘブル 12:1-2 前半。
3. 罪を除き去る唯一の道は、キリストを十字架につけられ、復活された、罪のない命として日ごとに食べることです。彼は種なしパンによって表徴されています——ヨハネ 6:57。
4. わたしたちが回心した日から携え上げられる日まで、クリスチャンの全生涯（七日間で表徴されている）は、わたしたちの祝宴、また命の豊かな供給としての祭り、キリストの享受であるべきです——出 12:16, 18-19。

L. イスラエルの子たちはエジプトの銀、金、衣服を奪い取りました。これが示しているのは、神は、神の救いにおいて、わたしたちが労苦することを通してこの世の富を奪い取り、彼の住まいを建造することを願っておられるということです—— 35-36, 38 節. 3:21-22. 11:2-3. II コリント 6:10. ルカ 6:38. 12:16-21. I テモテ 6:17-19。

M. わたしたちの贖いとわたしたちがこの世から逃れることの目的は、主へと聖別されることです。キリストを彼らの置き換えとし、その中に生きることによって聖別される者、新しい生活の開始を持つ者、暴露された罪すべてを対処する者たちは、記念されるにふさわしい日ごとの生活を持ちます——出 13:2, 13。

II. イスラエルの子たちが紅海を渡ることによって表徴されるバプテスマを通して、わたしたちはサタンの圧政、この世の強奪から救われます—— 14:1-31. ヘブル 11:29. マルコ 16:16. I コリント 10:1-2 :

A. バプテスマは、人々をこの世から分離された領域へと救います。それは神の定められた御旨、救いの目標、すなわち、彼の王国を設立するための住まいを建造するためです——出 5:1. 15:13, 17-18. 40:2。

B. 正しく、純粹に、生きた方法で実行されたバプテスマは、信徒を三一の神の中へと入れます(マタイ 28:19)。すなわち、キリスト、生けるパーソンの中へと(ガラテヤ 3:27)、キリストの死、効き目ある死の中へと(ローマ 6:3)、キリストのからだ、生ける有機体の中へとです(I コリント 12:13)。それは信徒が、キリストとの有機的結合だけでなく、彼のからだとの有機的結合の中へと入るためです。

C. クリスチャン生活とは、バプテスマの生活です :

1. バプテスマされるとは、主イエスが取られた「義の道」を取ることです(マタイ 3:13-17, 21:32)。それはわたしたちの生活と働きにおいて、「わたしは肉の中にある人であり、神の目に、死と葬り以外に何の価値もありません。それゆえ、わ

たしは自分自身を終結させ、十字架につけ、葬ることを願います」と宣言することです——参照、出 4:6-7. ローマ 7:17-18. イザヤ 6:5。

2. キリストの中へとバプテスマされるとは、キリストの中へと接ぎ木されることです。それによって、わたしたちは、栽培されたオリーブの木の根の樹液としてのキリストに共にあずかる者、享受する者となります——ローマ 6:3-5. 11:17, 24:
 - a. キリストとの有機的結合の中で、キリストが経過されたものはすべて、わたしたちの歴史となりました。彼の死と復活は、今やわたしたちのものであります。なぜなら、わたしたちは彼の中におり、彼と有機的に結合されているからです——ガラテヤ 2:20。
 - b. 栽培された木として、キリストはわたしたちの中に生きておられます。接ぎ木された枝として、わたしたちは彼が生きる中で生きます。わたしたちはキリストの中におり、キリストと共におり、またキリストのゆえに、彼をわたしたちの生活の要素とします。キリストはわたしたちの中に、わたしたちを通して、わたしたちによって、わたしたちと共に生きられ、わたしたちを彼の表現のための要素とします——ピリピ 1:19-21 前半。
 - c. そのような接ぎ木は、わたしたちのすべての消極的な要素を排除し、神が創造されたわたしたちの機能を復活させ、わたしたちの機能を引き上げ、わたしたちの機能を豊かにし、わたしたちの全存在に浸透して、わたしたちを造り変えます——ローマ 11:17, 24。
3. わたしたちはキリストの死の中へとバプテスマされました。今やわたしたちは彼を愛して、復活の力による「すべて」を通して、彼の死とかたちに同形化されつつあります。それによって、わたしたちは彼の永遠の定められた御旨とわたしたちの永遠の定めを完成します——ローマ 6:3-5. 8:28-29. 参照、13:11-14。